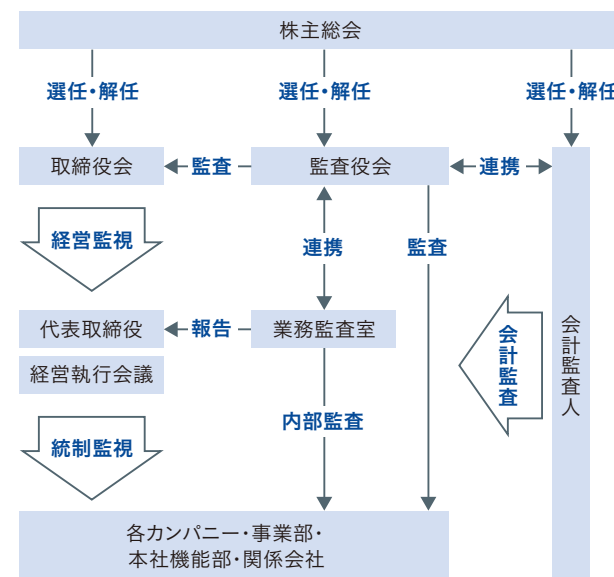


## コーポレートガバナンス

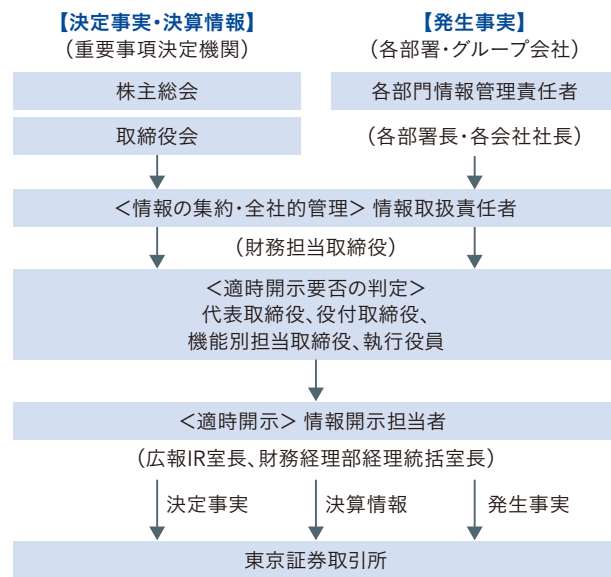
### 基本的な考え方

グンゼグループは、企業価値を継続的に増大させていくという経営の基本方針を実現するために、コンプライアンスの重要性を認識し、社会・経済環境に対応した迅速な意思決定と適時適切な情報開示に努めています。経営の透明性向上を図ることによって株主価値を高めることを経営上の最も重要な課題の一つであると考え、その実現のために、各ステークホルダーとの良好な関係を築くとともに、内部統制機能の強化・整備を図りながら、コーポレートガバナンスの充実に努めていきたいと考えています。

### コーポレートガバナンス体制



### 適時開示体制



### 経営執行体制

当社は監査役会設置会社です。現行の経営体制は、社外取締役2名を含む取締役11名（うち女性2名）です。また、迅速な意思決定および業務執行体制の強化を図るために執行役員制度を導入しており、取締役兼務者9名を含む執行役員15名を選任しています。なお、経営責任の明確化を図るとともに経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制とするため取締役および執行役員の任期は1年としています。取締役会は原則として月1回開催しており、業務執行に関する重要事項や法令、定款に定められた事項の決定を行うとともに、取締役の職務執行状態を監督しています。これと併せて、代表取締役、役付取締役、機能別担当取締役、執行役員8名で構成される経営執行会議を概ね週1回程度開催し、業務執行に関する重要事項の審議を行い、意思決定の迅速化を図っています。

(2018年7月現在)

#### 社外取締役

2名の社外取締役は社外の専門的な知識・経験と公正かつ客観的な立場から、取締役会において助言・提言を行うとともに、経営トップおよび取締役などと経営に関する意見交換を実施するなど、当社のコーポレートガバナンスが有効に機能することに寄与しています。

#### 監査役・監査役会

監査役会は社外監査役2名を含む監査役4名で構成しています。監査役は取締役会、経営執行会議などの重要会議への出席、当社事業部門・管理部門への監査、国内外の子会社調査などを実施し、経営への監視機能を果たしています。

#### 会社情報の適時開示に係る社内体制

当社は企業価値を継続的に向上させていくという経営の基本方針を実現するために、コンプライアンスの重要性を認識し、社会・経済環境に対応した迅速な意思決定と適時適切な情報開示を通して、経営の健全性・透明性の向上を図っています。

## 内部統制システム

### リスク管理体制の強化

2017年度のリスクマネジメント活動は、同年に新設した法務コンプライアンス室が一元的にリスク管理を行うこととし、体制を強化しました。事後対策から予防策へ重点をシフトし、さらに、より機動的な共有体制を目指し、リスク発生時には規定の書面により法務コンプライアンス室に速やかな報告を義務付けるとともに、改善策協議の必要性が高い場合は委員が集まって協議するリスクマネジメント委員会を開催しています。委員会で取り上げた事例については、CSR委員会、部門CSR責任者会議、CSR推進リーダー会議で共有し、各部門でのリスクマネジメントにつなげています。また全社共通の課題である働き方改革、B2C事業における適正表示および個人情報保護を取り上げ協議。働き方改革については分科会の提言を受けて人事総務部で種々の制度改革を行い、適正表示については法務コンプライアンス室が事業部を横断した研修会を開催し、個人情報保護については改正法を反映した規程改定を行いました。

### 相談・通報への対応

社長直轄の内部通報窓口として、「なんでも相談ホットライン」を設置しています。相談や通報に対しては、ハラスメント防止規程、公益通報者等保護規程に則り、被通報者および関係者のプライバシーに配慮した上で、慎重に対応しています。相談件数は、前年と比較すると減少しましたが、ハラスメント関係の相談が増加しました。公益通報者等保護規程に基づく相談件数の実績はありません。今後も、公正・公平な立場で誠実な対応に努めていきます。

#### リスクマネジメント委員会報告案件

(年間件数)

内容	2016年度	2017年度
海外リスク	0	1
火災	3	0
情報セキュリティ	3	0
施設事故	0	0
表示不適切	0	3
環境	1	0
自然災害	2	0
重大労災	8	8
個人情報取扱不備	0	0
人権問題	0	0
その他	1	0
計	18	12

2017年度版CSR報告書掲載データに一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

#### なんでも相談ホットラインに寄せられた通報・相談内容

(年間件数)

相談項目	2016年度	2017年度
職場の人間関係	18	9
セクシュアル・ハラスメント	0	2
パワー・ハラスメント	0	6
その他	25	7
計	43	24

#### MESSAGE

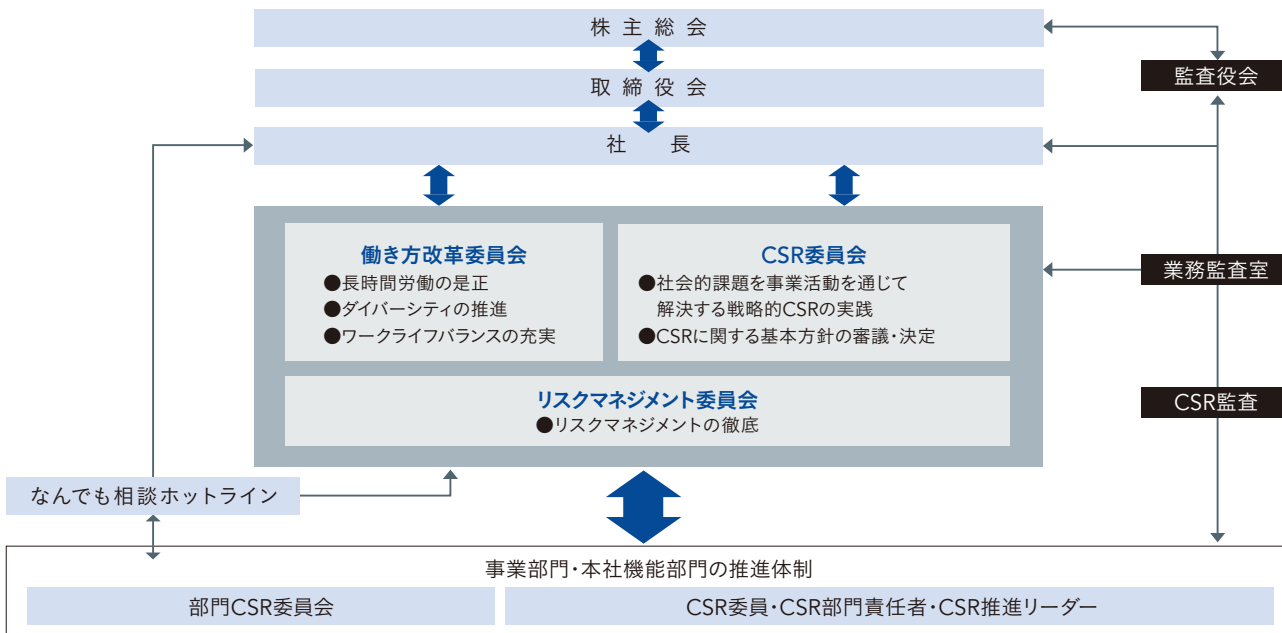
2000年代半ば、コーポレートガバナンス(企業統治)、コンプライアンス経営の議論が巻き起こり、企業統治の仕組みが強化されました。当社でも、企業価値を継続的に増大させることを目的に、当社グループの内部統制システムの整備に関する基本方針が決定され、その監査の実施基準が規定されました。また会社経営の透明性の確保などのため、株主の権利・平等性の確保など五つの基本原則に沿ったコーポレートガバナンス・ガイドラインが制定されています。監査役は、そのガバナンスのための会社の体制や統治の方針・運用について、取締役会、その他の重要な会議や往査などを通じてガバナンスの実効性を監査しています。今後も公正不偏の立場でガバナンスの健全性向上に努めてまいります。



監査役 水沼 洋

# CSR推進体制

当社は、「CSR委員会」「働き方改革委員会」「リスクマネジメント委員会」の3つの委員会を設置し、これらの委員会が有機的に連動することにより社会から信頼される企業としてのガバナンス体制を徹底しています。CSR委員会では、CSR担当役員を委員長、CSR委員をメンバーとし、解決すべき社会的課題について自社事業活動を通じて持続可能な社会の実現および企業価値向上を目指すため、またCSR委員会で戦略的CSRを実践する上での基本方針の審議・決定、ならびに推進事項および課題への対策を審議します。さらに、CSR委員会の決定事項の徹底や、各部門における次年度展開を計画・実践する組織として「部門CSR委員会」を設置。同委員会での実践状況は、CSR委員会で報告され、活動内容を全社レベルで把握することにより組織的なCSRマネジメントを推進します。



## CSR活動を活性化するために -CSR活動優良事業所表彰-

当社グループでは各事業所に部門CSR推進委員会を設置、CSR活動を推進しています。毎年、各部門の活動を表彰することにより、部門の活動を称えるとともにCSR推進リーダー会議などで共有し、CSR活動の活性化につなげています。1位受賞の部門は、ATGプロジェクト※をはじめとする構成員の一体感を醸成する取り組みや、社会貢献のもったいない活動などのあらゆる分野において幅広く精神的な活動を推進したことで表彰されました。以下は表彰を受けた部門です。

※ATGプロジェクト…ATG(明るく楽しく元気よく)は、職場の風通しを良くするための課題に取り組む全社プロジェクトとして2013年にスタートしました。

### 工場部門 部門別順位

- 1位 **メディカル事業部** … 88点
- 2位 東北グンゼ … 77点
- 3位 綾部エンプラ … 71点

#### メディカル事業部/住みやすい地域づくりに貢献

綾部本社周辺の歩道や駐車場付近の清掃を全従業員で実施しています。約30分間の僅かな時間での清掃活動ですが見違えるほどきれいになり、綾部を訪れる方々を清々しい気持ちで迎えることができます。



### オフィス・サービス部門 部門別順位

- 1位 **綾部本社** … 92点
- 2位 宇都宮物流 … 78点
- 3位 山梨物流 … 77点

#### 綾部本社/継続的な復興支援

福島県の震災復興支援のために毎年、福島ひまわり里親プロジェクト※に参加し、グンゼ博物苑の花壇でひまわりを育て、たくさん種を収穫しています。今後もたくさん花を咲かせ、支援を続けます。

※東日本大震災後、「福島県に震災復興支援としてひまわりを植えよう」と始まった活動。購入した種は、里親のもとで大切に育てられ、採取した種を福島に送り返すことで福島との絆づくりと雇用支援につながっている。



〈表彰は100点満点(事業所活動55点、社会貢献活動25点、コンプライアンス関連20点からの減点方式)の評価基準となっています〉